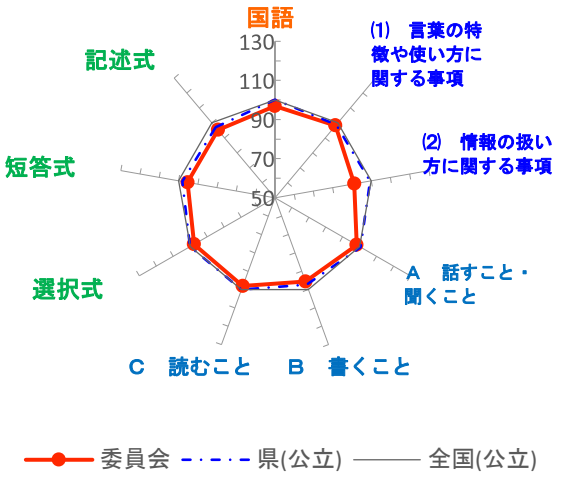
＜小学校国語＞



国語
全体の正答率は、全国平均と比べて下回っている。領域別にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」においては、比較的高い正答率を示している。

言葉の特徴や使い方に関する事項	◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で比較的正しく使うことができる。 ◇話や文章の種類とその特徴について理解することができる。
話すこと聞くこと	◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 ◆相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることに課題がある。
書くこと	◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 ◆引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
読むこと	◇文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ◆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。

授業改善のポイント

◇→概ね身についている。
◆→課題がある。

●どのような表現の工夫があるかということだけでなく、それぞれの表現の工夫を用いることのよさや効果についても再確認しておくことが必要である。
●「書くこと」の学習などにおいて、情報と情報との関係について理解する指導事項を単元の中でどのように位置付けるとよいかを教師が意識して指導することが重要である。
●引用する目的を書き手である児童が自覚できるようにすることが重要である。その上で、引用する目的や引用するときに大事なことについて児童と確認し、掲示物を作成するなどして、適宜、振り返ることができるように手立てを講じることが大切である。
●自分の経験と関わりのある筆者の事例を取捨選択し、自分の経験とどのような関係があるかを整理した上で、筆者のものの見方や感じ方について自分の考えと関連させながら再構成する場面を設定する。